

早稲田大学商学学院 総合研究所 WBS 研究センター
 「日中ビジネス推進フォーラム」水・金/集中コース

2012-15a

コース名	対中ビジネス即戦力の養成
クラス責任者	柳 孝一 教授
コーディネーター	朱 偉徳 特別研究員

毎週水・金曜日	開講日 2/15	修了日 3/2
全12講 ^(注)	講義時間 18:00~19:30、19:45~21:15	
定員各講30名	受講料 コース(全12講): 100,000円(講座コード:15a) ※1講ずつ申込の場合は各講 12,000円	
講座コード	No.15a(コース、12講一括申込) No.15-01~15-12(1講ずつ申込)	
場所	東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早稲田大学西早稲田ビル(19号館)	

- ① 当クラスは、1講ずつお申込・ご受講いただくことが可能です。
- ② 修了証書の授与は、コース(全12講一括申込)対象者のみとさせていただきます。
- ③ 全12講一括申込の場合は、1社2名ご受講いただけます。
- ④ お申込の際は、どの講座をご受講されるか、コードNo.を選択(または記入)してください。

《カリキュラム》

コード	月	日	講師	講義内容
15-01	2	15	朱 偉徳	イントロダクション ~対中ビジネスの光と影
15-02			中田 研一郎	中国巨大内需マーケットへの販路拡大を考える新たなグローバル人材戦略
15-03	2	17	柳田 洋	中国進出6つの落とし穴
15-04			高野 幸洋	拡大する中国巨大市場への挑戦 ~資生堂ブランドマーケティング戦略から
15-05	2	22	劉 新宇	社会保険制度の新たな構築 ~在中外国人就労者の社会保険への加入
15-06			後藤 康浩	中国産業の進化と日本企業の新たなポジショニング
15-07	2	24	吉田 仁史	異文化を活かすリーダーシップとマネジメント
15-08				中国における日系マネジメント手法の優位性と危険性Ⅰ
15-09	2	29	田中 信彦	中国で有効な人材採用~効果的な採用手法、選抜の技法
15-10				中国での人材育成~現地法人の幹部をいかに育てるか
15-11	3	2	渡辺 紀子	中国流通・小売マーケットにおける日系企業の課題と機会
15-12			藪田 直孝	中国における日系各社の事業戦略の方向性

◆目的

「対中ビジネス即戦力の養成」とは、中国への赴任者のみならず、日本国内で中国事業のサポートに携わるすべての方を対象とした実践的な研修プログラムです。

中国は経済成長によって所得が急増し、単なる「生産拠点」から「市場」へと変化を遂げています。この変化に伴い、中国現地で成功を収めるには、「ものづくり」のための技術だけでなく、マーケティングや営業、ローカル市場に合う商品の開発など、幅広い知識を持つ優秀な人材が必要となっています。

本講座では、中国における事業環境の変化に対する認識を深めることを出発点とし、在中国日系企業で実践されているマーケティングや人事労務マネジメントの各種施策を参考としつつ、どのような手法が有効かを講師陣とともに議論することで、実際に活用可能なスキル・知識の修得を目指します。

◆特徴

中国ビジネス領域で豊富な経験を持ち、現役で活躍中の講師による実践的な研修です。理論的な基盤に基づきつつ、日系企業の実例を学習することにより、以下の知識・スキルを習得することができます。

- ① 中国社会や人々の考え方の変化、政策の動向などを正確に理解できる。
- ② 中国人の勤労意識、行動原理など、マネジメントの基礎となる知識を修得できる。
- ③ 中国のマーケティング、人事労務マネジメント領域に特化した深い知識やスキルを修得できる。
- ④ 中国の労働関係法規や労働政策の最新動向を把握することができる。
- ⑤ 中国ビジネスに特化した人脈・ネットワークを広げることができる。

◆対象

- ① 日系企業で既に中国ビジネスやマネジメントに携わっている方。
- ② 今後、中国の現地法人や事務所へ赴任する予定の方、可能性のある方。
- ③ 日本国内で海外人事や中国事業のサポートに携わる方。
- ④ 日本で中国人スタッフや研修生、留学生の受け入れを担当されている方。
- ⑤ その他、中国ビジネスの戦略策定や事業企画に携わられている方。

◆講師紹介

朱 偉徳 ファーイー・パートナーズ(株) 代表取締役。
上海市出身、1988 年来日。化学メーカーの海外部中国室総括担当を経て、企業派遣扱いで早稲田大学ビジネススクール経営管理学修士(MBA)取得。
2002 年より現職。同年早稲田大学商学大学院 総合研究所 WBS 研究センター特別研究員、2003 年同研究センター「日中ビジネス推進フォーラム」事務局長。2007 年中国政府系シンクタンク「賽迪顧問股份有限公司(CCID)」日本事務所代表。日中社会の事情と双方の企業に精通したコンサルタントとして多岐にわたる活動を行なっている。

中田研一郎 ファーイー・パートナーズ(株)エグゼクティブ・ディレクター
元ソニー(株)人事センターリソースマネジメント部および東アジア人事戦略部統括部長。人事センター・エレクトロニクス人事戦略部統括部長を経て、2004 年ソニー・ヒューマンキャピタル(株)執行役員兼務。ソニーにおける人事の構造改革に着手し、人事制度全般にわたり改革を実施。採用部・研修部・人事情報システム部、Business Process Outsourcing 部等の個別業務を歴任。ソニー退職後、青山学院大学経営学部客員教授、中国清華大学継続教育学院顧問、内モンゴル工業大学大学院管理学院客員教授、新潟大学大学院技術経営研究科非常勤講師。早稲田大学商学大学院総合研究所WBS

研究センター特別研究員。中央大学大学院戦略経営研究科 客員教授。著書：『ソニー会社を変える採用と人事』（角川学芸出版）『就職活動に勝つ！』（角川学芸出版）等

田中 信彦 HRコンサルタント。

2001年から上海在住。早稲田大学政治経済学部卒。毎日新聞社記者などを経て、(株)リクルートの中国プロジェクトや大手カジュアルウェアチェーンの中国事業に参画するなど、90年代初頭から「中国」と「人材」をテーマにコンサルティングや執筆活動などを行っている。亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科(MBA)非常勤講師(日中人事・労務比較論)。早稲田大学商学学術院 WBS 研究センター「日中ビジネス推進フォーラム」特別講師。中国、日本における講演多数。著書に『人事・採用の基礎知識－中国編』（リクルート）、『中国で成功する人事 失敗する人事』（日本経済新聞社）など。『週刊東洋経済』に署名コラムを執筆中。NHK「クローズアップ現代」にも出演、中国の人事・教育問題を解説。ビジネス情報サイト「wisdom」の連載コラム「深層中国」は毎回数万のアクセスがある。

劉 新宇 北京金杜法律事務所 パートナー弁護士

中国上海復旦大学法学部卒業、早稲田大学大学院法学研究科修士(民法)。

卒業後、中華人民共和国労働省に入省、同省直轄の国際経済合作会社に勤務(総務副部長、法務部長を歴任)。95年より弁護士として活動。01年より丸紅(株)法務部中国法顧問、05年より現職。

得意分野は、会社法務、企業 M&A・解散清算、国際貿易及び紛争解決であり、多くの日中団体、多国籍企業の法律顧問を務め、最近では特に独禁法、税関管理・外為法、労働紛争解決などに注力。

中国政法大学大学院特任教授・国際環境法センター研究員、中国国際経済貿易仲裁委員会(CIETAC)仲裁人、一般社団法人日本商事仲裁協会仲裁人、在日中国弁護士連合会名誉会長、中国太平洋経済合作全国委員会人力資源開発委員会委員。

『中国赴任者のための法務相談事例集』（商事法務）監修、『中国専門家が語る「最新チャイナビジネス」』（日外協）共同執筆、『チェンジン・チャイナの人的資源管理－新しい局面を迎えた中国への投資と人事－』（白桃書房）共同執筆。「労働契約法制定への対応」（週刊国際貿易）、「賃上げをめぐる労働争議と対応策」（月刊グローバル経営）など、労働人事・投資貿易関連の論文、講演多数。

後藤 康浩 日本経済新聞社 編集委員

早稲田大学政治・経済学部 政治学科卒。豪ボンド大学経営学修士(MBA)

1984年日本経済新聞社入社。東京本社社会部

1985年8月カイロ・アメリカン大学留学(アラビア語研修)

1986年東京本社国際部

1988年バーレーン支局長

1990年ロンドン(欧州総局)駐在

1992年東京本社産業部

1997年北京(中国総局)駐在

2000年東京本社産業部編集委員

2002年論説委員、日経 CNBC キャスターを兼務

2008年編集局アジア部長

2010年4月現職

著書：『強い工場』（2003年日本経済新聞社刊）、『勝つ工場』（2005年日本経済新聞社刊）、『アジアカ——成長する国と発展の軸が変わる』（2010年日本経済新聞出版社）

共著：『中国 工場から市場へ』（2002年日本経済新聞社刊）、『いやでもわかる日本の経営』（2004年日本経済新聞社）、『アジアエネルギーパートナーシップ』（2004年エネ

ルギーフォーラム社)、『東アジア共同体を設計する』(2005 年日本経済評論社刊)、『中国環境ハンドブック』(2007 年 蒼蒼社)、『事典 現代のアメリカ』(2006 年大修館)など。

柳田 洋 北京華通広運物流有限公司 総経理
1966 年東京生まれ。早稲田大学商学部卒業後、丸紅で石炭貿易に従事。1996 年より 5 年半にわたり丸紅北京支店に駐在するも、起業の志捨て難く、2001 年丸紅を退社、そのまま北京に留まり駐在員事務所代行サービス会社を設立。その後、引越業務、倉庫業務を開始し現在に至る。著書に「起業するなら中国へ行こう！」(PHP 新書)。

高野 幸洋 株式会社資生堂 監査部長
元資生堂麗源化粧品有限公司・総経理
1979 年に資生堂へ入社。以降、営業、マーケティング、人事などを担当後、2002~2006 年に北京市にある資生堂麗源化粧品有限公司の総経理として、WTO加盟後急成長した中国市場での事業拡大をリードした。また、北京駐在時には北京日本人会の副会長として、日中交流ならびに邦人の諸活動の支援を行ってきた。
帰国後は人事部の部長として、グローバル人事戦略をはじめ、中長期の人事政策に関する業務を担当し、人事部門での活動内容は昨年発売された書籍「日本人事(労務行政研究所)」でも取り上げられた。そして、現在は同社の監査部長として、国内外の子会社を含め、全社の内部監査を担当し、健全経営に向けた指導を行っている。

吉田 仁史 株式会社 IWNC ホールディングス 取締役
IT 関連企業において日米両国での経営に携わった後、大手技術者人材派遣企業で社員意識改革と収益性回復のチェンジマネジメントの指揮を執る。V字回復達成の後、2003 年に人材育成・組織開発コンサルタントとして(株)IWNC に入社。2005 年よりアジアグループ人事ダイレクターを兼務し、2009 年より IWNC China の経営陣として中国に赴任、北京と上海を管轄するマネージングダイレクターとなり現在に至る。
IWNC China においては、欧米系顧客が7割を占め、香港、台湾を含む中国人、シンガポール人、米国人、英国人、日本人からなる多国籍の社員の異文化マネジメントの傍ら、日系企業クライアント向けには自らがコンサルタントとして、中国人管理職のロイヤルティ向上やリーダーシップ、チームワーク研修、日中経営陣のチームビルディングのコンサルティングやワークショップの運営を行っている。

渡辺 紀子 縄文アソシエイツ株式会社 シニア・コンサルタント
東京大学文学部中国語中国文学科卒業後、豊田通商株式会社入社。食料部門に所属し、食材の輸入開発からマーケティング、販売までのバリューチェーン全般を担当。2006 年より中国北京に駐在、中国国内を市場とする合併会社 2 社の立ち上げ、マーケティング、経営に従事。2011 年に帰国し、今度は人財の立場から日系企業の中国・アジア進出を成功に導くコンサルタントとしてヘッドハンティングファーム・縄文アソシエイツに転じて現在に至る。

藺田 直孝 三井住友銀行企業調査部 次長
三井住友銀行入行以来、ほぼ一貫して調査畑を歩む。東京本店の調査部を皮切りに約 5 年の香港地区勤務を経て、2003 年より上海に駐在。
2008 年より香港駐在グループ長を兼務し、現在は中国本土のほか、北東アジアのマクロ経済から個別産業の動向に至るまで幅広くカバー。
最近では TV や新聞、ビジネス誌ほかマスコミにも多くのコメントを寄せており、内外への情報発信を積極的に手掛けてきている。
2011/11 月に帰国し、現在は、本店の企業調査部に在籍。

参加申込書

日中ビジネス推進フォーラム事務局 FAX : 03-5287-5831

文末の個人情報の取り扱い内容をご理解の上、下記太線の枠内に必要事項をご記入、該当する欄を○で囲んでください。なお、ホームページからのお申込みもできます。www.wjcf.net

【お問合せ先】

早稲田大学商学学術院 総合研究所 WBS 研究センター
日中ビジネス推進フォーラム (WJCF) 事務局
TEL. 03-5287-5578

<input type="checkbox"/>	WJCF 会員
<input type="checkbox"/>	一般参加
<input type="checkbox"/>	学生

	<p>対中ビジネス即戦力の養成 2/15~3/2 毎週水・金 18:00~19:30、19:45~21:15</p> <p><input type="checkbox"/> コース、12 講一括申込み</p> <p><input type="checkbox"/> 1 講ずつ申込み (以下該当するコードを○で囲んでください)</p> <p>2/15-01 2/15-02 2/17-03 2/17-04 2/22-05 2/22-06</p> <p>2/24-07 2/24-08 2/29-09 2/29-10 3/2-11 3/2-12</p>
勤務先	TEL. _____ () _____
所属部署	
住所	
お名前	フリガナ _____
E-mail	(受講証などの諸連絡は電子メールで送付いたしますので、必ずご記入ください)
備考欄	

■個人情報の取り扱い

- ・ご記入頂いた個人情報は、当フォーラムの運営管理に利用させていただきます。なお、今後当フォーラム主催の中国ビジネスに関連するセミナーについてご案内させて頂く場合がございます。
- ・お客様の個人情報を宛名データ作業はすべて当事務局内で行い、外部に委託することは一切いたしません。
- ・個人情報の開示、訂正、利用停止などについて、上記お問合せ先までご連絡ください。

■[事務局記入欄]

受付日	／	入力日	／	受講No	請求No	備考
-----	---	-----	---	------	------	----